

長等の防災

2022年9月25日発行

第7号

ながらまち協自主防災会

発行責任者 山本一男



ながらまち協自主防災会

会長 山本一男

平素は、自主防災会の活動にご理解ご協力を頂きましてありがとうございます。

令和4年度まちづくり協議会総会におきまして、自主防災会長を本年度も続けてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、7月8月の異常な暑さもようやく収まりつつありますが、9月10月は台風のシーズンでもあります。災害には、予測できない（地震・土砂災害等）災害と、予測できる（台風・大雨等）災害がありますが、いずれにしても防災減災の基本的な考えかたとして、自分の命は自分で守る（自助）隣人と共に助け合う（共助）事が、災害発生時にまず必要であると思います。

6月には、コロナ禍に対しての捉えかたも変化している中、消毒・検温・マスク・密にならないように参加者・開催時間の制限をさせて頂き、研修会を開催いたしました。

内容は、現在作成中であります長等学区の「地区防災計画案」を説明させて頂きました。学区民とまちづくり協議会が一体となって、地域防災力を高め、災害時の被害を最小限にすることを目的としています。概要を裏面に掲載していますので、参照頂きますようお願いいたします。

今後も防災意識を皆様と共に高め防災減災に繋がるように、自主防災会の活動を続けて参りますので、ご理解ご協力をお願い致します。

防災訓練予告

11月13日（日） 長等小学校グラウンド
詳細は10月に自治会・地域自主防災会等を通じて、お知らせします。

学区自主防災研修会開催



6月26日に開催しました防災研修会の概要を裏面に掲載します。当日は「地区防災計画」をテーマに市危機・防災対策課から説明いただき、学区自主防災会から「長等学区地区防災計画（案）」について説明しました。詳しくはホームページ（[ながらまち協自主防災](#) [検索](#)）をご覧ください。

青少年育成協議会主催

親子防災体験キャンプ

7月9日・10日に皇子が丘公園で親子防災体験キャンプが実施され、当自主防災会役員も、お手伝いさせていただきました。あいにくの天候でしたが、防災について皆さん熱心に学んでおられました。



事務局から

長等学区では、地域の防災力を高め、災害時の被害を最小限にするため、「長等学区地区防災計画」の作成を進めています。計画案の概要を裏面で紹介しましたが、ながらまちづくり協議会のホームページに詳細を掲載しています。ぜひご覧いただき、ご意見をお寄せください。

[ながらまち協自主防災](#) [検索](#)

学区自主防災研修会概要

6月26日に開催しました防災研修会の概要を掲載します。詳しくはホームページ
〔[ながらまち協自主防災](#) [検索](#)〕をご覧ください。

I. 地区防災計画について（大津市危機・防災対策課 高山 彰 総合防災係長）

- 地区防災計画作成の3つの利点
 - ①地域コミュニティ主体の自発的なボトムアップの計画
 - ②地区の特性に応じた計画
 - ③継続的に地域防災力を向上させる計画
- 要配慮者や男女共同参画など多様な視点を取り入れた計画づくりが大切

II. 長等学区地区防災計画（案）について（学区自主防災会）

- 基本的な考え方
 - ・長等学区の住民（自治会）とながらまちづくり協議会の構成団体が一体となって地域防災力を高め、自助、共助、公助の力を合わせて災害時の被害を最小限にする。
- 防災活動の内容
 - （1）防災活動の体制（班編成）

ながらまちづくり協議会の構成団体、学区内防災士により防災活動の体制を次のとおり整備し、平常時および災害時において、各地域自主防災会（自治会）および学区民を支援する。また、今後、各自治会からの参加についても検討する。

〔ながらまちづくり協議会防災体制 組織図・役割分担〕

班名	担当者 (団体名等)	平常時の役割	災害時の役割 (学区災害対策本部)
総務班	自治連合会 自主防災会 防災士	全体調整 関係機関との事前調整	全体調整 関係機関との調整 被害・避難状況の全体把握
情報班	社会福祉協議会 自主防災会 防災士	啓発・広報 情報伝達方法の決定 連絡網の作成	学区内住民および公共機関等からの情報収集・伝達
消火・救出救護班	青少年育成協議会 自主防災会	資機材・器具の整備・点検	消火器・バケツリレーなどによる 地域自主防災組織による初期消火の支援 負傷者の救出・応急手当・救護所への搬送
避難誘導班	民生委員児童委員協議会 自主防災会	避難経路の点検 避難行動要支援者の支援体制の整備	住民の避難誘導 避難行動要支援者への支援 在宅避難者への支援
給食給水班	体育文化連盟 自主防災会	器具の整備・点検	炊き出し等の給食・給水活動 市等への備蓄品の要請

（2）地域自主防災会・自治会の活動

日常の活動

- ・住民は、家具の転倒防止、家庭内備蓄を行う。（購入→備蓄→消費）
- ・住民は、家族および地域自主防災会単位で避難場所、避難経路、避難所の確認を行い、各地域自主防災会においてひな型を参考に防災マニュアルを作成する。
- ・住民は、各世帯および地域自主防災会単位で防災資機材を整備する。
- ・地域自主防災会は、防災マニュアルに基づき年1回、避難訓練・研修を実施し、各世帯への緊急連絡体制を整備する。また、避難行動要支援者の把握に努め、その情報を共有する。

災害時

- ・住民は、台風や大雨が予想される場合、テレビ、ラジオ、防災メール等により気象情報を確認し、地域自主防災会内で共有する。
- ・発災後、住民および地域自主防災会は次のとおり対応する。（各戸保存用チラシを作成）
 - ア 身の安全確保
 - イ 出火防止、初期消火
 - ウ 住民同士の助け合い・救助・救出・避難支援